

さあ！中間試験だ。“自分の可能性”に挑戦しよう！

中間テストが迫ってきました。中学校においては、秋祭りとかねあいからすでに始まっているところもあります。高校は来週の連休明けからいよいよ本格化します。



【中間テスト必勝法】

中間テストでは、基本的に学校で学んだ範囲がそのまま試験範囲になります。

ノートをしっかり整理して、自分のわからないところを見つけ、それを徹底して繰り返しやる事が第一。次に、問題ほとんどは、「整理と研究」などの補助教材から出されることが多い。これをとことんやり尽くすことです。

◎取り組む姿勢

中間テストぐらい一夜漬けでできるとたかをくくっている人が多いです。しかし、これでかきいい点をとれたとしても、本当の学力は身につけません。やはり高得点を狙うためには、準備に時間をかける必要があります。

よく「試験前には何時間勉強すればいいですか？」という質問を受けることがあります。

答えは一つ「**覚えられるまで何時間でもやれ**」です。

なぜならば覚える時間に個人差があるからです。覚えるまで時間のかかる人は、**目で見て、口を使い、手で書いて覚える**と効果が倍増します。目で見て覚える人が多いと思いますがこれでは、やったことがあまり身につけません。

テスト勉強の目安としたら、試験直前なら**1日3時間**は学習時間を確保すること。

90分で1教科をするつもりで、**1日に最低2教科**。今日は国語と数学とか、できれば文系科目と理系科目を1教科ずつすれば教科のバランスはとれます。**休日は最低でも6時間**。午前に数学90分、午後

後に社会を90分、夜には英語を3時間とか……。自分で学習計画をたてそれを実施することです。

とにかく行き当たりばつりに勉強するのはやめましょう。

暗記する際には、**勉強時間の40%を覚える時間に使い、残りの時間を思い出す練習(暗唱など)に使うと効率があがる**ことがわかっています



◎塾の活用

自分の家にいると、テレビなどの誘惑が多くて勉強に集中できない。そんな時は塾に自習に来るといいです。しかし、塾に来ててもダラダラと友達と話しているようで周りの人に迷惑もかかります

し。勉強する意味もなくなります。塾に来てても何の科目を勉強するのか、何時まで勉強するのかなど目的意識をもってテスト勉強に取り組んでください。

◎試験は自分の到達度を知るいい機会。逃げるな。全力で立ち向かえ!!

「どうせ僕は頭が悪いんだから」こんなことを言ってるで勉強しない人もいます。

無駄かどうかやる前から決めつけてはどうにもなりません。

勉強は自分へのチャレンジです。やればやるほど自分の可能性は広がっていきます。

「**頭が悪い**」はただ単に**努力することが嫌いな人が使えない訳**に過ぎません。確かに飲み込みがよい人と悪い人というのがあります。しかし、努力で埋めきれないほどの差があるとは思えません。むしろ、飲み込みがよい人は自分であまり努力をしないため、高校になって授業内容が難しくなるとすると成績を下げるケースが多くあります。まずやってみる事です。

最後に決してあきらめないで勉強することです。そうすればかならずできるようになります。



勉強の必勝法は、短い時間で何度も繰り返しやることだ！

①口や手を動かす

覚える時は、ただ見ているだけではなかなか頭に入ってこない。**声に出して読んだり、手で書いたりすればすごく覚えやすい**。英単語を覚える場合、まず正しい発音を三度し、10秒間集中して覚える。同じ単語を何度も書いて覚えるよりも、短い時間で何度も繰り返す方法がベスト。つまり「**視覚特化**」が覚える効率を高める。

※単語の覚え方

×(だめ) 1単語を1分間かけてじっくり覚えて、1時間で60単語覚える。

○(よい方法) 1単語を1秒見て、1分間で60単語を見る。それを1時間で60回繰り返す。



②繰り返す 『ジャブKO法』の実戦

暗記ものは、何度も繰り返すことが大切。その日覚えたと思っても、時間がたつと忘れてしまう。勉強は「**一発ストレート**」をねらうのではなく、「**小さなジャブ**」を繰り返す。一度暗記したもので、時間を置いてからもう一度覚えなおすこと。

③目標をたてる

目標をたてることでヤル気が出てくる。「**英語は100点とるぞ**」「**数学は学年10番以内に入るぞ**」「**今日これを覚えるぞ**」といった目標を定めて、それを達成するようにすること。

また、得意科目をどんどんやれば、相乗作用が働き、不思議と不得意科目も伸びてくる。

日本で始めてノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎先生の勉強のしかたを紹介します。

「前日に翌日のことを予習して、教室にて注意して聞き、(なるべく教室にて、直ちに憶えるようにすべし)、帰りは必ず復習す、この三つをすれば、自ら憶えられるべし。而して一週間の後には、全科につきて大略に復習すべし。